

校訓	盡己	令和4年度学校通信 「松崎中だより」 第2号	発行日	令和4年4月12日
教育目標	すべてのことに全力で取り組む生徒の育成 「一生懸命勉強する」「優しい心を持つ」「感動する」生徒の育成		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 佐藤 幸宏

松崎中学校令和4年度がスタート

昆陽南公園の木々も葉桜の季節を迎えました。本校花壇には、ノースボールの合間からチューリップが空に向かって伸びる様が美しく、皆元気をもらっています。昨日晴天の中入学式を無事終え、新入生を含めて3学年が揃い、ようやく各教室が呼吸をし始めました。新型コロナウイルス感染症予防対策をもとに入学式は簡素化した形で行いましたが、3月末に巣立っていった卒業生の歌声にも支えられ、厳粛でかつ温かな入学式となったことに感謝しています。



今年度の松崎中学校は、生徒数が、1年生209名、2年生202名、3年生216名の計627名、学級数は、1年5クラス、2年5クラス、3年6クラス、なかよし学級が6クラスの計22学級でスタートいたします。校訓「盡己」のもと、新入生の皆さん一人ひとりが何事にもベストを尽くし、個性を伸ばし、良さ、可能性をあらゆる場面で引き出せるよう教育実践をしてまいります。ご協力のほどよろしく申し上げます。以下、本校の本年度の学校教育目標です。

校訓 「盡己」(じんこ)～己を尽くす ベストを尽くす 一生懸命する～

学校教育目標 すべてのことに全力で取り組む生徒の育成

「一生懸命勉強する」「優しい心を持つ」「感動する」生徒の育成

1 めざす学校像

- (1) 未来・社会に開かれた学びの場
- (2) 深い学びと感動がある学びの場
- (3) 温かい人間関係を築く場
- (4) 学校、家庭、地域協働による子育ての場

2 めざす生徒像

- (1) 学び(授業、行事、部活動)を深め、共有し合える生徒
- (2) 美しいもの、一生懸命な姿に感動する生徒
- (3) 未来を見据え、主体的に課題を解決する生徒
- (4) 相手を思いやり、自分を大切にし、さわやかな挨拶ができる生徒

3 めざす教師像

- (1) 授業、行事、部活動で勝負し、生徒とともに感動できる教師
- (2) 生徒ひとり一人の良さを引き出し、自己有用感をはぐくむ教師
- (3) 教育のプロとして、絶えず指導方法を改善し、組織力を発揮できる教師
- (4) 服務規律を順守し、ワークライフバランスある社会人、地域の一員である教師



本校職員の紹介

今年度の本校は、職員55名でスタートいたします。以下紹介します。

本校の教育推進に、ご理解、ご支援、ご協力よろしく申し上げます。



全 体					
校 長	佐藤 幸宏	教 頭	今井 克己	事 務	山本 美香
養護教諭	田中 淑子	技能主任	森 章浩	事 務	水鳥 嘉菜
スクールカウンセラ	谷口 正弘	ふれあい職員	岡本 智	事務補助	熊谷 沙輝子
スクールソーシャルワ	平野 智子	特支教育支援員	亀田 美登利	介助員	有園 磨美
A L T	ブルース・シロマ	学校司書	高石 真紀	スクールサポートスタッフ	岡田 みどり 谷野 洋子

第1学年			第2学年			第3学年		
担当	教科	氏 名	担当	教科	氏 名	担当	教科	氏 名
学年主任	国語	横内 愛	学級	美術	野田 義子	学年主任	英語	古俵 満早
1組担任	保体	西川 昇志	1組班	数学	宮木 慎太郎	1組担任	英語	美納 直
2組担任	社会	塚廣 直史	2組班	理科	宗行 亮	2組担任	数学	田尻 晃史
3組担任	音楽	竹 聖代	3組班	国語	廣 一登	3組担任	家庭科	中山 裕紀子
4組担任	数学	高田 尚征	4組班	保体	長澤 ひろ代	4組担任	国語	窪田 えみか
5組担任	英語	家岡 将之	5組班	社会	藤原 憲太	5組担任	理科	八田 俊輔
なかよし	社会	端村 慎一	なかよし	数学	岡田 和也	6組担任	保体	黒川 拓馬
なかよし	英語	清水 桐絵	なかよし	数学	出口 智美	なかよし	国語	山下 葉月
教務主任	数学	柿 貴志	なかよし	英語	大畑 幸恵	なかよし	国語	池田 卓
生指主任	英語	西本 大和	学年付	音楽	吉木 真一郎	進路主任	社会	木村 駿介
学年付	理科	池内 洋子	学年付	国語	加藤 あつ子	学年付	技術科	藤田 崇雄
主幹マネ	国語	人見 彩夏	学年付	英語	山本 愛	学年付	数学	上野 翼
			学年付	理科	福永 麻依子	学年付	英語	酒井 夏実
			新学習	数学	藤田 慎一郎			

コロナウイルス感染症予防に向けて！

- ・毎朝の検温・記録により風邪症状の有無等の確認
- ・こまめな**手洗い**や手指消毒 ・定期的な**室内換気**
- ・適切な**マスクの着用**（特に**マスクなしでの会話はしない**）
 - * マスクの着用が疎かになる場面について、特に①登下校時の会話時、昼食時、部活動等のミーティングや更衣時、②学習塾など習い事の行き帰り時、感染予防対策の徹底を行う。
- ・健康管理（十分な睡眠、適度な運動、バランスとれた食事）
- ・不要不急の外出を控える。 ・三密(密閉、密集、密接)を避ける ゼロ密を！



「学校に持ち込まない、学校内に広げない」